

我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立小松小学校

○調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【結果について】

《概要》

本校の学力調査については、調査人数が30人と少ないため、全体的な傾向を捉えるのは難しいといえますが、全国の状況から見て、国語・算数ともに、平均的なレベルにあると考えられます。算数Bについては、正答率が高く、答えの根拠を説明する力も身につけてきていることがわかりました。今まで積み上げてきた基礎学習の成果が表れてきていると考えられます。質問紙調査では、全国の状況と比較すると、家で、学校の授業の予習をしたり、計画的に学習したり、読書をしたりしている時間に大きな個人差があることがわかりました。「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがありますか。」「自分には、よいところがあると思いますか。」の項目では、肯定的な回答が多くみられました。今後も自信を得たり、自尊感情を高めたりできる学習や行事等に積極的に取り組んでいきたいと思えます。

《強み・弱み》

授業や家庭学習によって「読み・書き・計算」の基礎的な力はずいぶんと定着してきました。計算が速くなり、黒板の内容をノートに効率よく写し取ることができるようになったことで、その時間の学習内容についてじっくりと取り組むことができました。これは、本校の強みであり、各教科で成果が現れています。また、記述で答える力もついてきていますので、毎日繰り返して行っている基礎的な学習の成果が出てきていると考えています。質問紙調査によると、学習習慣が定着していないことが気になります。与えられた課題に取り組めたことで満足し、自主的に取り組む姿勢の不足が弱みとなっています。授業では、「学習のめあてを示し見通しを持たせる」「学習の終わりには振り返る時間を設定することで学習内容を確認させる」「資料・図・データを読んで考えさせる」「情報を関連づけながら話し合わせる」等の活動をより一層取り入れ、学び合える環境を創り出していきたいと考えています。学力向上に必要な、保護者の皆様の学校への関心の高さや協力体制は、本校の強みです。保護者の皆様のご協力やご支援を引き続きお願いします。

【指導の充実に向けて】

- ◇日々の授業実践の中で、漢字の書き取りや計算問題の処理など、各教科の知識や技能の確実な定着を目指した取り組みを引き続き進めます。
- ◇言語活動（話すこと・聞くこと・書くこと）を通して、子どもたち同士の意見交換や議論などを重視し、教師主導の授業の進め方から脱却した活発な授業を創造しながら、子どもの学習意欲を高め、子どもの満足感が得られる授業を目指します。
- ◇デジタル教科書やタブレット等 ITC 機器の活用を積極的に進め、子どもたちの興味や関心を引き出す授業を目指します。
- ◇与えられた課題をこなすだけの家庭学習ではなく、授業と家庭学習をつなぐことができるような課題を設定するように心がけ、子どもたちが自主的に学べるように努めます。また、家庭学習の手引なども活用し、家庭との連携をさらに深めます。